

# 群馬東部水道企業団太田本所建設事業 設計業務公募型プロポーザル 選定委員会による審査結果の公表

群馬東部水道企業団の太田本所は、昭和44年に建設され50年以上が経過し、経年劣化が顕著となっています。また、平成24年度には耐震診断を実施しましたが、耐震性能不足判定を受けました。このような現状では来庁する皆さまや従事する職員の安全性が確保されていないため、太田本所を建て替えることになりました。

本プロポーザルにあたっては、1. 利用しやすく親しみやすい快適な庁舎、2. 住民の生活を守る安全・安心な庁舎、3. 長期間にわたって使用できる効率的で経済的な庁舎、4. 環境に優しいエコな庁舎、という4つの基本理念を掲げ、建て替える太田本所に対する考え方を提案していただきました。

## ■設計概要

事業名称：群馬東部水道企業団太田本所建設事業

計画地：太田市下浜田町1088番2

業務内容：新庁舎建設に係る基本設計・実施設計業務、既存庁舎の解体に係る実施設計業務

設計期間：令和7年2月28日まで  
(予定)

## ■参加者

一次審査（参加表明書の提出）：4者

二次審査（技術提案書の提出）：4者

## ■審査方法

提出された技術提案書等、プレゼンテーション、提案者へのヒアリングによる審査を行い、選定委員会による審議を経て最優秀者と次点者を選定しました。

## ■審査結果

参加者を厳正かつ、公正に審査した結果、

株式会社 石井設計 を最優秀者として選定しました。

## ■選定委員長講評

令和5年9月21日 選定委員会委員長 渡邊 哲哉

今回のようなプロポーザル方式による選定は、良好なデザインを選ぶわけではなく、参加者の業務内容、業務背景に対する理解度、適切性、具体性を審査し、新しい太田本所を建設するにあたっての群馬東部水道企業団のパートナーとなり得るかどうかという視点が重要となります。

二次審査まで参加された4者に対し、令和5年9月12日に技術提案書等を用い、提案者からのプレゼンテーション、提案者へのヒアリングによる審査を実施しました。選定委員会にて慎重に議論を重ね、各提案者の評価が拮抗している中、最優秀者として「株式会社石井設計」を、次点者として「株式会社福島建築設計事務所」を選定しました。

最優秀者である株式会社石井設計については、基本理念の中から「1. 利用しやすく親しみやすい快適な庁舎」「4. 環境に優しいエコな庁舎」の2つの観点を特に高く評価しました。移転予定地の周辺環境を適切に捉えつつ、来庁する方のゆったりとした空間の提案だけでなく、従事する職員のための居心地のよい執務空間にまで言及し、誰もが利用しやすい快適な庁舎への提案が豊富でした。近年話題にあがる、省エネと創エネを活用して建物で使うエネルギーを正味ゼロまで近づけようというZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の指標について、取り組み事例が豊富であると判断し、新しい太田本所においてもできる限りの環境負荷の低減を実現できるのではないかと評価しました。見た目だけでなく、安全や避難のことを最優先に考えたデザインをしていくという姿勢に共感し、ぜひ、住民や従事する職員のために、群馬東部水道企業団と共に新しい太田本所を建設していくことを願います。

次点者である株式会社福島建築設計事務所をはじめ、他の提案者においても、基本理念だけでなく、社会情勢までも的確に捉えておりました。本プロポーザルでは僅差で最優秀には至らなかったものの、作りこまれた技術提案書や熱意のあるプレゼンテーション、的確な質疑応答は大変評価できました。貴重な時間を費やし、努力いただいた皆さまに深く敬意を表します。

